

# 令和5年度事業計画

公益財団法人 滋賀県国際協会

## 1 基本方針

世界のグローバル化、ボーダレス化が進展する中であって、現在、SDGsに代表されるように、環境や貧困、多様性の尊重など、地球規模の課題に県民一人ひとりが向き合う姿勢が求められている。

当協会では、令和3年度から5年間の第3期中期計画のテーマとして「共感から実践へ」を掲げた。世界とのつながりを意識し、持続可能で、多様性と包摂性のある豊かさを実感できる社会の実現を目指し、行政、地域、組織、企業、個人等が協働し、多文化共生や国際理解を深め活躍できる場づくりやネットワークづくり、人材育成を行い、それぞれの実践につなげるような展開へと広げる。そのためのツールの一つとして、ポストコロナ時代におけるICTの活用も進めていく。

今年度は、県内における「国際感覚に優れた人づくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、民間団体の活動促進」を推進するため、地域国際化協会として適切な役割を果たすことができるよう、広域的、専門的な課題解決に向けて諸事業に取り組んでいく。

## 2 事業計画

### (1) 地域での国際教育の推進

SDGsの視点を取り入れた連続セミナーを次世代を担う若者の人材育成を目的に実施する。また、子どもを含む、すべての地域住民が、地球規模の課題や地域課題の解決に向けた取組を始めることができるように、ファシリテーター（進行役）の養成やオリジナル国際教育教材の研究、普及啓発を行い、当協会がコーディネーター役として、国際教育の普及、促進に努める。

### (2) 国際交流の推進

#### ア 姉妹友好州省および友好地域との交流

姉妹友好州省やその他友好地域との交流を促進するため、使節団等の派遣・受入を行う。

#### イ ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

ミシガン州立大学連合日本センターの施設管理および運営の推進業務を滋賀県から受託し、ミシガン州立大学連合日本センターの円滑なプログラム推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努める。

#### ウ 国際交流・協力ライブチャンネルの開催

滋賀県の姉妹友好州省駐在員や国際交流員等と当協会をオンラインでつなぎ、海外に行くことなく身近に国際交流を体感できる機会を提供し、国際交流、国際協力の裾野を広げる。また、企業を対象に、開発途上国の現地情報を提供する。

### (3) 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応する。また、海外協力隊員等と当協会をオンラインでつなぎ、ライブ配信により身近に国際協力の現場を体感できる機会を提供するライブチャンネルの開催により、国際協力の裾野を広げる。

### (4) 多文化共生の地域づくり

#### ア 外国人県民等への支援

外国人県民等のための一元的相談窓口として運営する「しが外国人相談センター」において、外国人県民等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行う。ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語（タガログ語）、英語およびベトナム語を含む12言語に対応する。滋賀弁護士会との連携により、法律相談を実施する。併せて、各種情報を提供するため、外国人向け情報紙を発行する。

令和4年度に引き続き、滋賀県や関係団体との連携により、滋賀県に避難されてきたウクライナ人への支援を実施する。

また、進路支援事業では、中学校卒業後の進路に関する情報を子どもと保護者に提供する場として、「進路ガイダンス」を開催する。

#### イ 留学生への支援

県内の短期大学、大学および大学院に在籍する私費留学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、かつ学業成績の優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、生活の安定と学習活動を奨励する。

#### ウ 災害時の外国人県民等支援

滋賀県と締結した「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」に基づき、大規模災害に備え、県および市町と連携した支援体制づくりを進める。

#### エ 多文化共生によるまちづくり

多文化共生に関する情報提供および相談対応、県内各地で実施される多文化共生事業に対して協力や支援を行う。

#### (5) 情報の収集および提供

県内の国際交流、国際協力に関する情報誌を発行するとともに、ホームページやFacebook、国際情報サロンを活用した情報発信を行う。

#### (6) 海外渡航の支援

海外の安全情報や渡航に関する情報等を県民に提供する。

#### (7) ボランティア活動の促進

##### ア 滋賀県国際協会ボランティア“S I Aボランティア”の登録および活動促進

国際交流、国際協力および多文化共生の地域づくりに関するボランティアの活動を促進する。

##### イ 災害時外国人サポーターの登録および活動促進

災害時通訳等の外国人サポーターの登録者の拡大および訓練等への参加を促し、支援人材の育成を行う。

#### (8) 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

地域に根ざした国際交流を推進するため、県民の国際交流ボランティアへの参画を促進し、滋賀県国際交流推進協議会事業を通して市民活動団体とのネットワーク強化に努める。

#### (9) 基盤整備

大規模災害発生時に、当協会事業の運営および管理を的確かつ円滑に実施するため、令和3年度に策定したBCP（事業継続計画）の検証を所内訓練を通して行う。

# 収 支 予 算 書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,355	3,358	△	3
特定資産運用益	2,344	2,003		341
受取会費	2,000	1,900		100
事業収益	60	110	△	50
受取補助金等	68,076	65,170		2,906
受取負担金	2,235	160		2,075
受取受託金	45,371	44,699		672
受取寄付金	1,180	180		1,000
雑収益	3	3		-
経常収益計	124,624	117,583		7,041
(2) 経常費用				
事業費	129,040	118,350		10,690
管理費	8,171	8,452	△	281
経常費用計	137,211	126,802		10,409
(うち人件費)	60,926	62,920	△	1,994
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,587	△ 9,219	△	3,368
評価損益等計	-	-		-
当期経常増減額	△ 12,587	△ 9,219	△	3,368
当期一般正味財産増減額	△ 12,587	△ 9,219	△	3,368
一般正味財産期首残高	26,526	35,745	△	9,219
一般正味財産期末残高	13,939	26,526	△	12,587
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
基本財産運用益	3,183	3,186	△	3
特定資産運用益	2,510	1,989		521
一般正味財産への振替額	△ 5,699	△ 5,361	△	338
当期指定正味財産増減額	△ 6	△ 186		180
指定正味財産期首残高	721,929	722,115	△	186
指定正味財産期末残高	721,923	721,929	△	6
<b>III 正味財産期末残高</b>	735,862	748,455	△	12,593

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,962	—	393	—	3,355
特定資産運用益	2,344	—	—	—	2,344
受取会費	1,000	—	1,000	—	2,000
事業収益	60	—	—	—	60
受取補助金等	61,065	245	6,766	—	68,076
受取負担金	85	2,000	150	—	2,235
受取受託金	45,371	—	—	—	45,371
受取寄付金	1,180	—	—	—	1,180
雑収益	1	1	1	—	3
経常収益計	114,068	2,246	8,310	—	124,624
(2) 経常費用					
事業費	127,352	1,688	—	—	129,040
管理費	—	—	8,171	—	8,171
経常費用計	127,352	1,688	8,171	—	137,211
(うち人件費)	53,868	1,228	5,830	—	60,926
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 13,284	558	139	—	△ 12,587
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 13,284	558	139	—	△ 12,587
他会計振替額	558	△ 558	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 12,726	—	139	—	△ 12,587
一般正味財産期首残高	14,227	8,170	4,129	—	26,526
一般正味財産期末残高	1,501	8,170	4,268	—	13,939
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
基本財産運用益	2,810	—	373	—	3,183
特定資産運用益	2,510	—	—	—	2,510
一般正味財産への振替額	△ 5,306	—	△ 393	—	△ 5,699
当期指定正味財産増減額	14	—	△ 20	—	△ 6
指定正味財産期首残高	671,354	—	50,575	—	721,929
指定正味財産期末残高	671,368	—	50,555	—	721,923
<b>III 正味財産期末残高</b>	672,869	8,170	54,823	—	735,862

## 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

### 1 資金調達の見込みについて

なし

### 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和4年度事業報告

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。令和4年度は、第3期中期計画に基づき事業を行った。

令和4年度は新たに次世代人材育成事業を立ち上げ、若者を対象に自らと世界とのつながりについて足元から学ぶ連続セミナーを開催した。国際教育の研修や進路ガイダンスなどは、新型コロナウイルス対策を講じながら対面で開催した。併せて、ICTを活用したオンラインによる研修や会議の場を設けることで、行政、市民活動団体間の連携を促進するとともに、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるとともに、人材の育成にも取り組んだ。

また、コロナ禍において生活環境悪化の影響を受けやすい外国人県民等に寄り添った支援を行うため、多言語での感染症関連情報の発信に努めたほか、ウクライナ避難民の滋賀での生活のサポートを行うなど、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

加えて、令和3年度に策定したBCP（事業継続計画）を確認するため所内訓練を行った。

## 1 地域での国際教育の推進

- |   |           |     |        |         |
|---|-----------|-----|--------|---------|
| (1) 国際教育研究会「 <small>ぐろーかる</small> <small>ねっと</small> <small>し</small> <small>が</small> <small>net</small> <small>Shig</small> <small>a</small> 」の開催 | 研究会議      | 12回 | 参加者    | 延べ 145人 |
| (2) 国際教育教材体験フェアの開催  | 8月10日     | 大津市 | 参加者    | 52人     |
| (3) 次世代人材育成事業「多文化共生×SDGs×開発教育」の実施   |           |     |        |         |
| 7月17日、8月4日、9月10日、10月15日、11月13日、12月17日   | 大津市       | 参加者 | 20人    |         |
| (4) 国際教育ファシリテーター養成講座の開催   | 1月7日      | 大津市 | 参加者    | 16人     |
| (5) 国際教育オリジナル教材の貸出および販売   |           |     |        |         |
| ア 「ブラジルボックス」の貸出10件  |           |     |        |         |
| イ 「非識字体験ゲーム」の貸出1件、販売8件  |           |     |        |         |
| ウ 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」の貸出5件、販売9件  |           |     |        |         |
| エ 「わたしん家の食事から <small>ち</small> カードゲーム版」の貸出3件、販売9件   |           |     |        |         |
| (6) 国際教育研修等への講師派遣   | 27件、延べ49人 | 参加者 | 4,308人 |         |

## 2 国際交流の推進

- (1) 姉妹友好州省および友好地域との交流  
新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、中止
- (2) ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営
  - ア 施設の維持管理
  - イ ミシガン州立大学連合日本センター運営の支援
    - (ア) ミシガン州からの留学生を対象とした関連プログラム（日本語・日本文化講座）の運営支援
    - (イ) 県民向け英語プログラムの運営支援（近江八幡教室、彦根教室、土曜子ども英語教室等）
    - (ウ) 地域との交流プログラムの実施
    - (エ) その他プログラム（国内留学プログラム等）の運営支援

(3) 国際交流・協力ライブチャンネルの開催 10月1日、12月18日 参加者 70人

### 3 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力ライブチャンネルを開催するとともに、国際協力に関する情報発信や相談に対応した。

### 4 多文化共生の地域づくり

#### (1) 外国人県民等への支援

ア しが外国人相談センターの設置 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
 対応言語：ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語を含む12言語 相談件数 2,032件

イ 外国人のための手づくり情報紙「みみタロウ」の発行 年4回 10言語 20,000部/回

ウ 相談員研修会・連絡会議の開催 6月17日、1月10日、3月3日 大津市 参加者 延べ 94人

エ 法律相談 相談件数 21件

オ 在留資格出張相談会の開催 10月30日 近江八幡市 相談件数 4件

カ しがウクライナ避難民応援支援金の募集および避難民への支援  
 (ア) しがウクライナ避難民応援支援金の募集 募金総額 16,616,095円（3月31日現在）  
 (イ) しがウクライナ避難民への支援 受入状況 11組17人（3月28日現在）  
 生活支援金等支給額 7,624,600円（3月31日現在）

キ 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援  
 (ア) 子どもへの日本語指導者養成講座 8月26日 大津市 参加者 30人  
 (イ) 進路ガイダンス 10月30日 近江八幡市 参加者 42人

ク 日本語指導者養成講座の開催（共催：びわこ日本語ネットワーク）  
 10月9日、11月3日、11月13日 大津市、野洲市 参加者 延べ64人

ケ 災害時の外国人支援  
 (ア) 災害時外国人サポーター養成講座（共催：滋賀県） 9月4日 草津市 参加者 28人  
 (イ) 近畿地域国際化協会連絡協議会災害時外国人支援研究会への参加 4回  
 (ウ) 消防職員対象の研修への講師派遣 7月12日、12月1日 東近江市 参加者 71人

コ 多文化共生に関する研修等への講師派遣等 10件 参加者 164人

(2) 留学生への支援  
 留学生への奨学金の支給 支給人員 10人 支給額 月額20,000円/人

(3) 多文化共生によるまちづくり  
 多文化共生に関する情報提供およびアドバイス等 相談件数 61件

### 5 情報の収集および提供

(1) 国際交流・協力情報誌「S I A しーあ」の発行 年3回 日本語 2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 年12回

(3) ホームページおよびFacebookによる情報提供

(4) 国際情報サロンによる情報提供

## 6 海外渡航の支援

- (1) 渡航相談、海外情報の提供
- (2) パスポート用写真撮影 新型コロナウイルス感染拡大の影響により休止中

## 7 ボランティア活動の促進

- (1) 滋賀県国際協会ボランティア“<sup>しーあ</sup>S I Aボランティア”の登録および活動促進 登録者 延べ269人  
(通訳、翻訳、ホームビジット、ホームステイ、国際交流支援)
- (2) 災害時外国人サポーターの登録および活動促進 登録者 130人

## 8 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

- (1) 滋賀県国際交流推進協議会（68団体加盟）の開催 全体会議等 1回 研修会 1回
- (2) 国際交流推進セミナーの開催 10月7日 草津市 参加者 40人

## 9 基盤整備

- B C P（事業継続計画）の検証を行った。 2月20日



# 正味財産増減計算書

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,352,790	3,352,790	—
特定資産運用益	2,367,927	2,978,043	△ 610,116
受取会費	1,836,000	1,862,000	△ 26,000
事業収益	43,010	283,088	△ 240,078
受取補助金等	64,892,189	59,880,272	5,011,917
受取負担金	1,902,200	2,712,100	△ 809,900
受取受託金	43,516,068	37,316,107	6,199,961
受取寄付金	14,893,738	2,058,605	12,835,133
雑収益	589,982	269,645	320,337
経常収益計	133,393,904	110,712,650	22,681,254
(2) 経常費用			
事業費	125,923,484	103,386,363	22,537,121
管理費	8,257,501	7,987,943	269,558
経常費用計	134,180,985	111,374,306	22,806,679
(うち人件費)	61,535,147	57,744,268	3,790,879
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 787,081	△ 661,656	△ 125,425
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 787,081	△ 661,656	△ 125,425
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
経常外費用計	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 787,081	△ 661,656	△ 125,425
一般正味財産期首残高	38,550,084	39,211,740	△ 661,656
一般正味財産期末残高	37,763,003	38,550,084	△ 787,081
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益	3,180,356	3,180,356	—
特定資産運用益	2,534,527	2,963,943	△ 429,416
一般正味財産への振替額	△ 5,720,717	△ 6,330,833	610,116
当期指定正味財産増減額	△ 5,834	△ 186,534	180,700
指定正味財産期首残高	722,114,110	722,300,644	△ 186,534
指定正味財産期末残高	722,108,276	722,114,110	△ 5,834
<b>III 正味財産期末残高</b>	759,871,279	760,664,194	△ 792,915

# 正味財産増減計算書内訳表

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,960,514	—	392,276	—	3,352,790
特定資産運用益	2,367,927	—	—	—	2,367,927
受取会費	918,000	—	918,000	—	1,836,000
事業収益	43,010	—	—	—	43,010
受取補助金等	57,845,203	331,547	6,715,439	—	64,892,189
受取負担金	52,200	1,700,000	150,000	—	1,902,200
受取受託金	43,516,068	—	—	—	43,516,068
受取寄付金	14,893,738	—	—	—	14,893,738
雑収益	519,129	48	70,805	—	589,982
経常収益計	123,115,789	2,031,595	8,246,520	—	133,393,904
(2) 経常費用					
事業費用	123,423,460	2,500,024	—	—	125,923,484
管理費用	—	—	8,257,501	—	8,257,501
経常費用計	123,423,460	2,500,024	8,257,501	—	134,180,985
(うち人件費)	53,481,395	1,831,409	6,222,343	—	61,535,147
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 307,671	△ 468,429	△ 10,981	—	△ 787,081
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 307,671	△ 468,429	△ 10,981	—	△ 787,081
当期一般正味財産増減額	△ 307,671	△ 468,429	△ 10,981	—	△ 787,081
一般正味財産期首残高	23,421,055	10,370,752	4,758,277	—	38,550,084
一般正味財産期末残高	23,113,384	9,902,323	4,747,296	—	37,763,003
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
基本財産運用益	2,808,255	—	372,101	—	3,180,356
特定資産運用益	2,534,527	—	—	—	2,534,527
一般正味財産への振替額	△ 5,328,441	—	△ 392,276	—	△ 5,720,717
当期指定正味財産増減額	14,341	—	△ 20,175	—	△ 5,834
指定正味財産期首残高	672,740,111	—	49,373,999	—	722,114,110
指定正味財産期末残高	672,754,452	—	49,353,824	—	722,108,276
<b>III 正味財産期末残高</b>	695,867,836	9,902,323	54,101,120	—	759,871,279

# 貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	22,987,583	23,935,762	△ 948,179
未収金	896,313	29,699	866,614
預託金	11,440	11,440	-
立替金	165,583	5,890	159,693
流動資産合計	24,060,919	23,982,791	78,128
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	2,752,269	2,752,269	-
定期預金	38,261,314	38,261,314	-
投資有価証券	394,321,231	394,493,665	△ 172,434
基本財産合計	435,334,814	435,507,248	△ 172,434
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	36,741,903	33,179,625	3,562,278
減価償却引当資産	3,571,449	3,363,085	208,364
びわこ奨学金基金	300,280,725	300,114,125	166,600
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	5,178,000	-
協会50周年準備資金積立資産	1,000,000	750,000	250,000
その他受取寄付金(研修)	674,374	617,178	57,196
特定資産合計	347,446,451	343,202,013	4,244,438
(3) その他固定資産			
建物附属設備	169,620	339,525	△ 169,905
車両運搬具	1	1	-
什器備品	242,906	451,270	△ 208,364
その他固定資産合計	412,527	790,796	△ 378,269
固定資産合計	783,193,792	779,500,057	3,693,735
資産合計	807,254,711	803,482,848	3,771,863
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	10,360,828	9,385,058	975,770
預り金	280,701	253,971	26,730
流動負債合計	10,641,529	9,639,029	1,002,500
2 固定負債			
退職給付引当金	36,741,903	33,179,625	3,562,278
固定負債合計	36,741,903	33,179,625	3,562,278
負債合計	47,383,432	42,818,654	4,564,778
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	722,108,276	722,114,110	△ 5,834
指定正味財産合計	722,108,276	722,114,110	△ 5,834
(うち基本財産への充当額)	(421,827,551)	(421,999,985)	(△ 172,434)
(うち特定資産への充当額)	(300,280,725)	(300,114,125)	(166,600)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	37,763,003	38,550,084	△ 787,081
(うち特定資産への充当額)	(13,507,263)	(13,507,263)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(10,423,823)	(9,908,263)	(515,560)
正味財産合計	759,871,279	760,664,194	△ 792,915
負債及び正味財産合計	807,254,711	803,482,848	3,771,863

# 貸借対照表内訳表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
<b>I 資 産 の 部</b>					
1 流 動 資 産					
現金預金	10,299,132	9,970,826	2,717,625	—	22,987,583
未収金	896,313	—	—	—	896,313
預託金	11,440	—	—	—	11,440
立替金	165,583	—	—	—	165,583
流動資産合計	11,372,468	9,970,826	2,717,625	—	24,060,919
2 固 定 資 産					
(1) 基 本 財 産					
普通預金	2,430,254	—	322,015	—	2,752,269
定期預金	33,784,741	—	4,476,573	—	38,261,314
投資有価証券	348,185,647	—	46,135,584	—	394,321,231
基本財産合計	384,400,642	—	50,934,172	—	435,334,814
(2) 特 定 資 産					
退職給付引当資産	32,151,580	—	4,590,323	—	36,741,903
減価償却引当資産	3,153,589	—	417,860	—	3,571,449
びわこ奨学金基金	300,280,725	—	—	—	300,280,725
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	—	—	—	5,178,000
協会50周年準備資金積立資産	1,000,000	—	—	—	1,000,000
その他受取寄附金(研修)	674,374	—	—	—	674,374
特定資産合計	342,438,268	—	5,008,183	—	347,446,451
(3) そ の 他 固 定 資 産					
建物附属設備	169,620	—	—	—	169,620
車両運搬具	1	—	—	—	1
什器備品	174,892	29,149	38,865	—	242,906
その他固定資産合計	344,513	29,149	38,865	—	412,527
固定資産合計	727,183,423	29,149	55,981,220	—	783,193,792
資産合計	738,555,891	9,999,975	58,698,845	—	807,254,711
<b>II 負 債 の 部</b>					
1 流 動 負 債					
未払金	10,255,774	97,652	7,402	—	10,360,828
預り金	280,701	—	—	—	280,701
流動負債合計	10,536,475	97,652	7,402	—	10,641,529
2 固 定 負 債					
退職給付引当金	32,151,580	—	4,590,323	—	36,741,903
固定負債合計	32,151,580	—	4,590,323	—	36,741,903
負債合計	42,688,055	97,652	4,597,725	—	47,383,432
<b>III 正味財産の部</b>					
1 指 定 正 味 財 産					
寄付金	672,754,452	—	49,353,824	—	722,108,276
指定正味財産合計	672,754,452	—	49,353,824	—	722,108,276
(うち基本財産への充当額)	(372,473,727)	(—)	(49,353,824)	(—)	(421,827,551)
(うち特定資産への充当額)	(300,280,725)	(—)	(—)	(—)	(300,280,725)
2 一 般 正 味 財 産					
一般正味財産	23,113,384	9,902,323	4,747,296	—	37,763,003
(うち基本財産への充当額)	(11,926,915)	(—)	(1,580,348)	(—)	(13,507,263)
(うち特定資産への充当額)	(10,005,963)	(—)	(417,860)	(—)	(10,423,823)
正味財産合計	695,867,836	9,902,323	54,101,120	—	759,871,279
負債及び正味財産合計	738,555,891	9,999,975	58,698,845	—	807,254,711